

令和6年度 授業づくり研修会

令和6年6月14日赤磐市立山陽西小学校「生活科」

中本耕貴教諭 生活科2年生「あそんで、ためして、くふうして」

キーワード

「環境設定」「委ねる」「架け橋期」

「こんなおもちゃをつくりたい!」「もっとスムーズに動くようにしたい!」「もっと高くとばしたい!」子どもたちが「たい!」(自分の思い)を実現させようと、終始、遊びに没頭する姿が見られました。

活動の中で、友達と対話したり、友達のおもちゃをヒントにして自分で黙々と試行錯誤したり、友達のよさを発見したりと、子ども達は、遊びを通して多くのことを学んでいました。

子どもが試したくなる「環境設定」と「子どもたちに任せる」という教師の姿勢が生み出した学びでした。



赤磐市立桜が丘小学校 永井伸一郎校長 から「生活科における理論と実践について」の講演をいただきました。

遊びを通して子どもたちは自ら試し、工夫し、伝え合う中で面白さや不思議さに気づいたり、みんなと遊びを創りだそうとしている。こういった本時の子どもたちの姿は、生活科のねらいにも沿っている実践であると、指導要領と子どもの姿を結びつけながらお話いただきました。

また、**就学前との学びのつながり**についてもご示唆をいただきました。

こども園や幼稚園の先生方も多く参加され、活発な協議が行われました。

「幼稚園での遊びと比べるとレベルアップしているが、遊びに没頭している様子は変わりなく見られた。」

「園での遊びがどのように小学校に繋がっているのかわかってよかった。つながりを意識した保育ができそうだ。」

「就学前と小学校だけではなく、各発達段階での学びの接続を丁寧に行うことで、子どもの主体性を生む学習が展開できるのではないか。」

などといった意見が聞かれました。



岡山県総合教育センターの研修と合同で開催させていただいたことで、より、様々な地域の園や学校の先生方と意見を交流し、有意義な時間となりました。赤磐市で推進している「架け橋プログラム」にとっても、多くのヒントをいただける機会となりました。